

月	単元・題材名 (時数)	目標	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
4 ～ 5	見つけ、感じ取り、描く(6)	<p>(1) 色が感情にもたらす効果や水彩絵の具や色鉛筆等を用いて表現方法を理解する。 自分の表したいものを絵の具の水彩的表現や色鉛筆の使い方を工夫し制作する。</p> <p>(2) 身近なものを見つめ、感じ取ったものの特徴やモチーフに託した自分の思いなどをもとに主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 クラスメイトの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、身近なものに対する作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。</p> <p>(3) 美術の表現活動の喜びを味わい、心豊かに身近なものを描き表現したり、鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>【知識】 色が感情にもたらす効果や絵の具や色鉛筆を用いての明暗等を意識した表現方法を理解している。</p> <p>【技能】 自分の表したいものを絵の具や色鉛筆の使い方を工夫して制作することができている。</p>	<p>【発想】 身近なものを見つめ、感じ取ったものの特徴やモチーフに託した自分の思いなどをもとに主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>【鑑賞】 クラスメイトの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、身近なものに対する作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>【態表】 美術の表現活動の喜びを味わい、心豊かに身近なものを描く表現の学習内容に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【態鑑】 美術の表現活動の喜びを味わい、心豊かに身近なものを描いた作品から様々な表現の工夫を感じ取り、鑑賞活動に取り組もうとしている。</p>
6 ～ 7	色・絵の具の基礎学習(8)	<p>(1) 色相環や色の仕組み、原理について学習し、色が感情にもたらす効果や混色による色の变化などを理解する。 ポスターカラーを使い、平塗りの技法で丁寧に着彩することができる。</p> <p>(2) 色のもつ効果やイメージなどから発想し、テーマに合った色合いを考え工夫して配色する。</p> <p>(3) 美術の表現活動の喜びを味わい、混色での表現や学習内容に主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組もうとしている。</p>	<p>【知識】 色相環や色の仕組み、原理について学習し、色が感情にもたらす効果や混色による色の变化などを理解している。</p> <p>【技能】 ポスターカラーを使い、平塗りの技法で丁寧に着彩することができている。</p>	<p>【発想】 色のもつ効果やイメージなどから発想し、テーマに合った色合いを考え工夫して配色することができている。</p>	<p>【態表】 美術の表現活動の喜びを味わい、混色での表現や学習内容に主体的に取り組もうとしている。</p>

<p>8 ~ 11</p>	<p>文字で楽しく伝える (12)</p>	<p>(1) 文字の形や色、構成などが見る人に与える効果について理解する。 ポスターカラーなどの材料や用具を工夫して生かし、制作の順序を考え、見通しをもって表す。 (2) 伝える相手や伝えたい内容などをもとに主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどとの調和を考え、絵文字の表現の構想を練る。 デザインされた文字から、伝達の効果と美しさなどを感じ取り、作者の表現の意図や工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。 (3) デザインされた文字を鑑賞して、作者の表現の意図や工夫を感じ取り表現したり鑑賞する活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>【知識】 文字の形や色、構成などが見る人に与える効果について理解している。 【技能】 ポスターカラーなどの材料や用具を工夫して生かし、制作の順序を考え、見通しをもって表している。</p>	<p>【発想】 伝える相手や伝えたい内容などをもとに主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練っている。 【鑑賞】 デザインされた文字から、伝達の効果と美しさなどを感じ取り、作者の表現の意図や工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>【態表】 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく形や色を工夫して文字をデザインする表現活動に取り組もうとしている。 【態鑑】 美術の創造活動の喜びを味わい、文字に込められた表現のおもしろさや意図や工夫を感じる鑑賞活動に取り組もうとしている。</p>
<p>12 ~ 2</p>	<p>木と親しむ暮らし (15)</p>	<p>(1) 形や色、材料などの性質や木の持つ温かみなどの感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、木で作られた作品について理解する。 木工芸の材料や用具を生かし、制作の順序を考え、見通しをもって工夫して表す。 (2) 用途や機能、使う人の気持ちを考えて主題を生み出し、木の特徴の理解に基づき、使いやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練る。 木工芸の目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、材料の特徴を生かした木工芸のよさや、作者の表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽</p>	<p>【知識】 形や色、材料などの性質や木の持つ温かみなどの感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、木で作られた作品について理解している。 【技能】 木工芸の材料や用具を生かし、制作の順序を考え、見通しをもって工夫して表している。</p>	<p>【発想】 用途や機能、使う人の気持ちを考えて主題を生み出し、木の特徴の理解に基づき、使いやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練っている。 【鑑賞】 木工芸の目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、材料の特徴を生かした木工芸のよさや、作者の表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>【態表】 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく木を使って用途や機能、使う人の気持ちを考えて作品をつくる表現活動に主体的に取り組もうとしている。 【態鑑】 美術の創造活動の喜びを味わい、用と美の調和や、材料の特徴を生かした木工芸のよさを感じる鑑賞活動に取り組もうとしている。</p>

		しく木を使って用途や機能、使う人の気持ちを考えて表現したり鑑賞したりする活動に主体的に取り組もうとしている。			
3	気持ちを伝えるデザイン	<p>(1) 形や色、材料の性質などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、気持ちを伝えるデザインを全体のイメージで捉えることを理解する。 紙などの材料や用具を生かして、機能に応じて、制作の順序を考え、見通しをもってあわす。</p> <p>(2) 誰に、どんな気持ちを伝えるかをもとに発想を広げ、伝えたい内容を形にあわす工夫と美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練る。 他者の作品を鑑賞し、伝達の効果と美しさの調和を感じ取り、気持ちを伝えるための作者の工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく気持ちを伝えるためにデザインする表現や鑑賞したりする活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>【知識】 形や色、材料の性質などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、気持ちを伝えるデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>【技能】 紙などの材料や用具を生かして、機能に応じて、制作の順序を考え、見通しをもってあわしている。</p>	<p>【発想】 伝える相手や、伝えたい気持ちをもとに主題を生み出し、伝えたい内容を形にあわす工夫と美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練っている。</p> <p>【鑑賞】 他者の作品を鑑賞し、伝達の効果と美しさの調和を感じ取り、気持ちを伝えるための作者の工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>【態表】 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく気持ちを伝えるためにデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【態鑑】 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく気持ちを伝えるための工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>